

## 2022年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2024年度分)

団体名	社会福祉法人西成若草会 浪速さくら保育園
小さな子どもを預かる保育園では、事故防止が1番大切ですが、いざという時の対応や救命処置ができる力を持つことも重要視しています。職員だけでなく子育てをしている保護者や地域の方が、まずは子どもに起こりやすい事故（溺水、転落、窒息など）を知ることで防止策につながり、いざという時の対応も知ることで子どもの命を救うことにつながると考えています。	
保育園内での講習では、DVDを用いた事前学習や、細かい設定を含めたシミュレーション訓練を行っています。初めて訓練機器の胸骨圧迫を行った職員は、圧迫に力が必要なことを知り驚いていました。講習の中ではAEDがどこに設置してあるか、近隣の会社や商業施設、駅構内等を確認する習慣をつけることも大切と伝えています。	
地域の子育て支援事業でミニ講座を開催した際に、「窒息とか、実際に起こるなんて思ってもみなかった」「救命処置を初めて見た」「参考になった」と感想をいただいています。今後もひとりでも多くの人に救命処置の訓練に参加してもらえるよう努めています。	